

● 調査レポート

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)  
- 2009年1~3月期 -

調査対象企業：県内企業 999 社  
回答企業：303 社(回答率 33.3%)

調査方法：アンケート方式を中心  
業種別内訳：製造業 176 社 非製造業 127 社

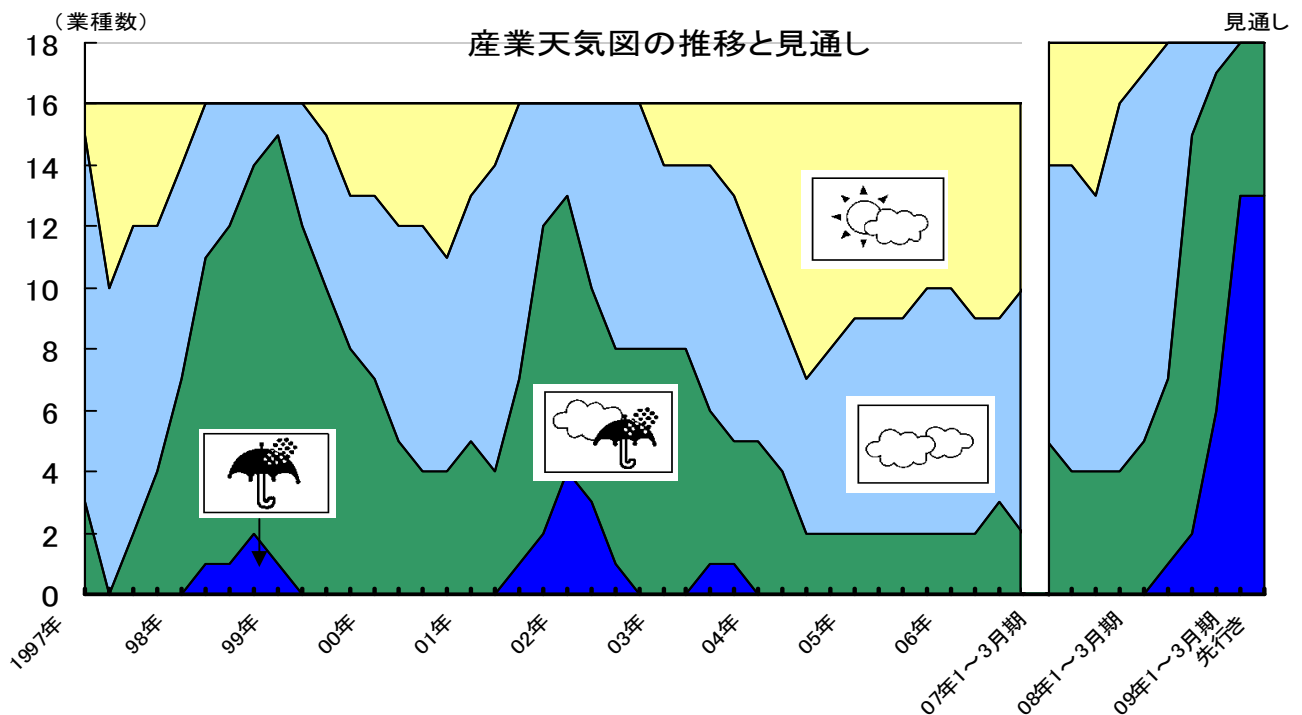
概況

今回の産業天気図は、「曇り一部雨」から「雨」へ後退する業種が更に広がるなど、雨混じりの空模様から本降りとなって来ている。業種別にみると、製造業では、全般に景気後退の影響を受け需要の急減を要因に、化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品、金属製品、一般機械器具及び精密機械器具がいずれも「曇り一部雨」から「雨」へ後退した。非製造業でも、同様に需要が減退するなど、その他非製造業が「曇り」から「曇り一部雨」へ、住宅建設、卸売及び小売が「曇り一部雨」から「雨」へいずれも後退した。この結果、前回から今回にかけて天気模様は、18 業種中「曇り」が 1→0、「曇り一部雨」が 11→5、「雨」が 6→13 業種となった。

先行きは、製造業、非製造業ともに、天気に変化する業種は見当たらない。製造業では、売上や収益に下げ止まり感が窺われるものの、厳しい状況は変わらないと見られる一方、非製造業では、売上や収益の減少が止まらず、厳しさを増すと見られる。こうしたことから、今回から先行きにかけての天気模様は、18 業種中、「曇り一部雨」が 5→5、「雨」が 13→13 業種となり、雨が降り続き低迷する見通しとなっている。

(注1)「現状」とは2009年1~3月期、「先行き」とは2009年4~6月期の見通しである。

(注2)2007年1~3月期調査より調査対象業種数は16→18となった。従って、産業天気図においては、2006年10~12月期と2007年1~3月期とで連続していない。



(注3) 天気の評価は、2007年1~3月期調査より企業経営動向調査の業種別BSIを基本とし、☀(晴)、☁(晴一部曇)、☁(曇)、☁(曇一部雨)、☔(雨)の5段階で表現している。